| 学校番号 | 3034 |
|---|---|

# 令和5年度　地理歴史科

| 教科 | 地理歴史 | 科目 | 地理探究 | 単位数 | 2単位 | 年次 | 2年次 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 使用教科書 | 「新詳地理探究」(帝国書院)<br>「標準高等地図」(帝国書院) | | | | | | |
| 副教材等 | 「新詳地理資料 COMPLETE2022」(帝国書院)<br>「統計要覧 2023 年版」(二宮書店) | | | | | | |

## 1　担当者からのメッセージ(学習方法等)

地理は、地図に記載できるものすべてを学習する学問である。地球そのものの様子や、我々が生きている地球で今何が起きているのか、今の世界はどのようにしてつくられているのか、といったことを、地図や統計などから読み解く学問である。それを踏まえると、やはり地図帳や統計表などを大いに活用して学習することが望ましい。

決められたことをただ行う受動的な学習ではなく、自分で何をすべきか、何を読むべきかを考えて判断し、積極的に学習してもらいたい。地理を通して、ただ知識を詰め込んで終わりではなく、なぜそうなるのかという疑問を常に持ち考えてもらいたい。この科目を通して世界に通じる教養を身につけていくことを期待する。

## 2　学習の到達目標

・地理的事象に関する諸資料(地図・統計・図表)に親しみ、どこに、どのようなものが、どのように広がっていて、なぜそのようにみられるのか、諸事象を位置や空間的な広がりとの関わりで捉える力を培う。
・現代世界の諸地域を、地域的特色も明らかにしながら考察し、現代世界の地理的認識を養う。
・地理的事象の理解を通じて、国際社会に主体的に生きる市民としての自覚と資質を養う。

## 3　評価の観点及びその趣旨

| 観点 | a:知識・技能 | b:思考・判断・表現 | c:主体的に学習に取り組む態度 |
|---|---|---|---|
| 観点の趣旨 | 地理的諸事象や地域性，現代的諸課題の分析・考察に必要とされる基礎的知識(用語・地名など)や基本的概念(空間，環境，地域)を身に付けている。また、地域において社会生活を営むにあたって必要とされる基礎的知識や基本的概念，地理的見方・考え方を身に付けている。 | 地図化したことを他の地理的諸事象との関わりから分析・考察・解釈し，そこから地理的概念や規則性(地理的見方・考え方)を見出すことができる。また、地図化することで得た概念や規則性をもとに，現代世界が抱える諸課題の現状を発見することができる。 | 持続可能な社会づくりを担うため、身の回りのさまざまな社会問題や地理的事象に対する関心と課題意識を高め、主体的に追及・解決しようとする態度、意欲的に学ぶ姿勢を持っている。 |
| 上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に5段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。 | | | |

4 学習の活動

| 学期 | 単元名 | 学習内容 | 単元(題材)の評価規準 | 評価方法 | | |
|---|---|---|---|---|---|---|
| | | | | 知(a) | 思(b) | 主(c) |
| 前期 | 人々の生活と気候 | ①気候の成り立ち<br>②気候と生態系<br>③世界の気候区分<br>④さまざまな気候帯<br>⑤気候変動と異常気象 | a:世界のさまざまな気候や、それに影響を与える気温や降水量、風などの気候要素について理解し、その知識を身に付けている。<br>b:気候の違いは、どのような要因で生まれるのか、また、人々の生活にどのような影響を与えているのかを考察している。<br>c:地域によって異なる気温や降水量、風などの気候要素や気候因子が、どのような気候を世界各地につくるのかについて、関心を高め、意欲的に追究しようとしている。 | ワークシート考査 | ワークシート考査 | ワークシート提出課題 |
| | 世界の農林水産業 | ①農業の発達と分布<br>②農業の地域区分<br>③現代世界の農業の現状と課題<br>④世界の林業・水産業<br>⑤日本の農林水産業 | a:地域により異なる農業地域や森林が分布すること、また、主要な漁場の成立条件と特色を理解し、その知識を身に付けている。<br>b:農業生産活動と自然との関わり、また、持続可能な開発に向けての林業や水産業の動向を考察し、その過程や結果を適切に表現している。<br>c:農林水産業生産活動と自然との関わりから生じる問題点に関心を持ち、課題意識を高め、それを意欲的に追究し、捉えようとしている。 | ワークシート考査 | ワークシート考査 | ワークシート提出課題 |
| 後期 | 食料問題 | ①世界の食料問題<br>②日本の食料問題 | a:世界の食料自給を不安定にしている要因を、食料生産の面からだけでなく、食料分配のかたよりという側面から理解している。<br>b:発展途上国の食料問題を解決するために、先進国が果たす役割について考察し、その過程や結果を適切に表現している。<br>c:食料資源の有効利用や、食料自給率を高めるために必要な取り組みについて関心と課題意識を高め、それを意欲的に追究し、捉えようとしている。 | ワークシート考査 | ワークシート考査 | ワークシート提出課題 |

| | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|
| | エネルギー・鉱産資源 | ①エネルギー資源の種類と利用<br>②化石燃料の分布と利用<br>③電力の利用<br>④鉱産資源の種類と利用 | a:化石燃料などのエネルギー資源、また、鉄鉱石などの鉱産資源の特徴と分布の特色を理解し、生産・消費について近年の動向などの知識を身に付けている。<br>b:エネルギー資源と人間生活との関わり、国際的な取り引きについて、また、世界の現状を踏まえ、今後の電力生産の在り方などを考察し、その過程や結果を適切に表現している。<br>c:エネルギー資源の利用の変化、電力の生産と消費、発電方式に対する関心を高め、持続可能な開発のために国際的に取り組めることを意欲的に追究し、捉えようとしている。 | ワークシート考査 | ワークシート考査 | ワークシート提出課題 |
| | 資源・エネルギー問題 | ①資源・エネルギーをめぐる問題<br>②日本の資源・エネルギー問題 | a:現代世界がかかえる資源・エネルギー問題を整理して理解し、その知識を身に付けている。<br>b: 現代世界がかかえる資源・エネルギー問題を解決する方法を考察し、その過程や結果を適切に表現している。<br>c:再生可能エネルギーの特徴を理解させ、それに対する関心を高め、持続可能な開発のためにどのように活用していくかを意欲的に追究し、捉えようとしている。 | ワークシート考査 | ワークシート考査 | ワークシート提出課題 |

※ 表中の観点について a:知識・技能 b:思考・判断・表現 c:主体的に学習に取り組む態度